

広島型M a a S 推進に関する分科会 (資料)

1. 広島型M a a S 推進事業計画書 (抜粋)

(1) 事業対象地域：北広島町内全域

(2) 公共交通の現状と課題

公共交通の現状と課題

| 交通手段 | 現 状 | 課 題 |
|---------|--|-------------------------|
| 路線バス | 利用者の減少 | 財政負担の増加 |
| ホープタクシー | 利用者の減少 | 財政負担の増加・新たな利用者の発掘 |
| | 各地域のバス事業者が自分たちに合った仕組みで予約を受け、手書きの予約受付簿に記入 | 運行業務の効率化 |
| | 事前予約が必要 | オンデマンド運行への対応 |
| | 町内にある商業施設等との連携がない | 町内施設と連携した取組 |
| | 運行管理がアナログ | 運行データを活用した路線バスとの交通体系の検証 |

(3) 課題解決に向けた仮説

北広島町ではホープタクシーでの予約システム・A I 運行システムの実証実験を、広島型M a a S 推進事業で取り組みたいと考える。

【仮説1】ホープタクシーでの予約システム・A I 運行管理システムの実証やオンデマンド運行を実証することで、スマートフォンからの予約やオンデマンド運行が可能になることにより、利用者の利便性が向上し、新たな利用者の増加に繋がることが想定される。

【仮説2】システムを活用した町内の協力施設の情報提供の実証を行う。町内の商業施設等と連携し、特売品等の買い物情報などの提供を予約システムから行い、交通手段と生活サービスを結びつけることが可能になる。また、レンタサイクル等の他の交通手段と連携するため、予約システムからレンタサイクル等の予約ができる仕組み作りを検討する。

【仮説3】将来的には、運行データを活用したホープタクシーの運行区域の拡大や運行エリアの統合、路線バスへの乗り継ぎなどの交通再編の取り組みを進め、利用者の利便性を図ると共に町の財政負担を軽減できると考える。また、情報提供の機能を活用した町内の観光情報の提供が可能になる。

(4) 事業のスケジュール

| 実施項目 | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---------------|----|---------|----|------------------|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 1. 事業 | | | | | | | | | | | | | |
| (1) コンサルタント | | ↔ <委託業者選定> | | | | | | | | | | | |
| (2) 現況調査 | | | | ↔ | | | | | | | | | |
| (3) 協議 | | | | ↔ | | | | | | | | | |
| (4) システム検討 | | | | | | ↔ | | | | | | | |
| (5) 社会実装計画 | | | | | | | | | ↔ | | | | |
| (6) 総合事業 | | | | | | | ↔ | | | | | | |
| | | | | | | <予算要求(県補助金申請予定)> | | | | | | | |
| 2. 会議等 | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 地域公共交通会議 | | | | ● | | | | ● | | | ● | | |
| (2) 広島型Ma a S推進分科会 | | | ● | | ● | | | | | ● | | | |
| | | | | <先進地視察> | | | | | | | | | |
| (3) 乗合バス事業者会議 | | | ● | | | | ● | | | ● | | | |

2. 北広島町地域公共交通MaaS推進事業社会実装計画策定業務

(1) 業務名：北広島町地域公共交通MaaS推進事業社会実装計画策定業務

(2) 業務の目的

町、町民、交通事業者、商業施設などが主体的に連携し、交通と生活サービスを「ひとつのサービス」とし、町内の公共交通ネットワークの利便性と持続可能性の向上を図るため広島型MaaS推進事業を活用して、本町における公共交通の現況・問題の調査と課題の整理をし、北広島町乗合タクシー（以下、ホープタクシーという。）の運行事業に予約システム・運行管理システムを導入し、課題を解決することを目的とする。

(3) 期間：契約の日から令和5年2月28日まで

(4) 委託金額

1,650,000円(消費税及び地方消費税を含む)

(5) 委託内容

本業務においては、次に掲げる業務を委託実施するものである。

(あ) 現況調査

本町における公共交通の現況・問題を調査し、課題の整理する。

(い) 課題解決に向けた提案と協議

整理した課題の中で、DXの技術を活用し解決できる課題について取組を提案する。また、町が開催する各会議等において、提案説明や協議を行う。

(う) システムの検討

ホープタクシー運行事業の予約システム・運行管理システムを検討する。また、ホープタクシーと生活サービスを結びつける仕組みやホープタクシーと他の交通手段を連携させる仕組みを検討する。

予約システム・運行管理システムの各種データを抽出し、交通再編等の取組に活用できる仕組みを検討する。

(え) 社会実装計画の策定

現況調査により課題を整理し、ホープタクシーへ予約システム・運行管理システムを実装するために必要な計画を策定する。

計画策定にあたっては、下記の実証を行うための実証計画を盛り込むものとする。

- ①全町域を対象とした予約システム・運行管理システムの導入
- ②オンデマンド運行に関する実証
- ③ホープタクシー運行と生活サービスとの連携
- ④ホープタクシー運行と他の交通手段との連携

3. 北広島町地域公共交通M a a S 推進事業社会実装計画策定業務提案書と評価

(1) 提出書類

| 書類名 | 様式 | 部数 | 備考 |
|-----------------|----------------|--------------------|-----------------|
| 提案書（鏡） | 別紙様式 （A4 版） | 1 部 | — |
| 提案書（提案） | 別紙様式 （A4 版） | 正本 1 部 副本 1 0 部 | — |
| 見積書 | 任意様式 （A4 版） | 正本 1 部 副本 1 0 部 | — |
| 提案者の組織・概要が分かる資料 | 任意様式 | 1 部 | ・既存の資料（パンフレット等） |

(2) 提案書の作成等

(あ) 規格

- ア 用紙は、原則 A 4 版両面使用とし、縦置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表の表現の都合上、用紙および記述の方法を一部変更することは差支えないものとする。
- イ ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。
- ウ 製本、糊付け等をせず、クリップ等の簡易な方法で留めて提出すること。

(い) 提案書の作成要領

- ア 提案書記載事項・評価基準（別紙）に掲げる事項を記載項目ごとに、別紙様式で指定する方法で記入すること。
- イ 提案書の副本は、審査資料として使用するため、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を記載しないこと（提案者に言及する際は「当社」等と記載）。

(う) 見積書の作成要領

- ア 提案する業務の予約システム・運行管理システムの導入コストとランニングコスト 1 2 ヶ月分の経費を計上すること。（次年度にも発生する経費は、ランニングコストとして経費を計上すること。）
- イ 積算の内訳を具体的に記載すること。
- ウ 消費税及び地方消費税相当額を含めた総額を記載すること。
- エ 町内全域を対象とし、運行車両は 1 0 台、予約センターは 1 カ所とする。

提案書記載事項・評価基準

| 提案書の記載項目 | 記載事項 | 評価基準 | 点数 |
|----------------------------------|--|---|-----|
| 1. 業務の方針 | ○業務の目的及び目指す効果 | ○本業務の背景や課題を理解し、必要な事業規模を備えた提案になっているか。 | 5 |
| 2-1. 全町域を対象とした予約システム・運行管理システムの導入 | ○ホープタクシーへ導入できる予約システム・運行管理システムの概要・導入メリットとデメリット | ○利用者の利便性が向上すると共に、運行業務の効率化が図られる。 | 30 |
| 2-2. ホープタクシー運行と生活サービスとの連携 | ○予約システム・運行管理システム等を活用した地域の商業施設等と連携した取組 | ○ホープタクシー運行と商業施設等との連携が図られる提案になっている。 | 15 |
| 2-3. ホープタクシー運行と他の交通手段との連携 | ○予約システム・運行管理システム等を活用した地域の他の交通手段と連携した取組 | ○ホープタクシー運行と他の交通手段との連携が図られる提案になっている。 | 15 |
| 3-1. 業務の執行体制 | ○本業務を確実に実施するための業務の執行体制 | ○進捗管理や発注者との協議内容の共有が円滑に行える体制が確保されているか。 | 5 |
| 3-2. 業務執行スケジュール | ○本業務の実施スケジュール | ○計画的で無理のないスケジュールとなっているか。 | 5 |
| 4. 類似業務の実績 | ○過去に受注し完了した類似業務の業務名、発注者、業務概要（簡潔に）、契約額（千円単位、税込額）、完了年月 | ○過去の業務経験に基づく知識やノウハウの活用が期待できる業務実績を有しているか | 5 |
| 5. 本業務の目的に応じたその他の提案 | ○仕様書で指定した業務内容以外で実施可能な事項 | ○成果をより上げることが期待できる有益な提案がなされているか。 | 15 |
| 6. 見積額 | ※予約システム・運行管理システムの導入等にかかる見積書を提出 | ○次の算定式による。 配点（5点）×（提案者中の最低見積金額）／当該提案者の見積金額 ※小数点以下を四捨五入 | 5 |
| 合 計 | | | 100 |